

【対象面積の海藻類について】
マメタワラが優占している。
その他にシラモ・ツノマタ・ウミウチワ・オバクサ・ツカサアミ等の褐藻類や紅藻類が見られた。
また、2月頃には一面をフクロノリが覆う。

【湿重量の計測】
ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が生育する場所（被度95%）において1m方形枠を設置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測した。

【含水比の算出】
採取した海藻のうち一部の海藻を十分に乾燥させ、重量を測定して乾重量/湿重量より含水率を算出した。

【P/B比の算定】
横山ほか、1999の文献および採取した海藻の高さからP/B比を算定した



※袋重量0.15kg含む

単位面積当たりの湿重量：6.15kg/m²
6.15 × 10 = 61.5t/ha

湿重量 ⇒ 乾重量
80℃で48時間
158.50 g ⇒ 26.55 g
94.16 g ⇒ 14.70 g

含水率：平均83.81%

【マメタワラ】
P/B比：1.5



2月頃、
全体を覆う
フクロノリ

【確実性評価について】
ツボ狩り時において、全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えづらい為、ある程度の長さを残している。そのため、湿重量及び含水比、P/B比に対して過小評価を行っており、吸収係数に係る自己評価を100とする。